

議題 N-バスの料金体系の改定について

N-バスの料金体系の改定の基本的な考え方

令和3年10月  
長久手市

1 経緯

N-バスは、65歳以上の利用者を無料にする県内でも数少ない自治体のひとつとなっており、平成10年7月の運行開始以来、現在の運賃体系を維持してきた。それにより、利用者1人あたりの収入が県内でも下位に位置し、収支率が低い要因となっている。

N-バス利用者の6～7割は、運賃が無料の65歳以上の高齢者であり、今後の高齢化により、現行の運賃体系ではさらなる市の負担増が見込まれる。

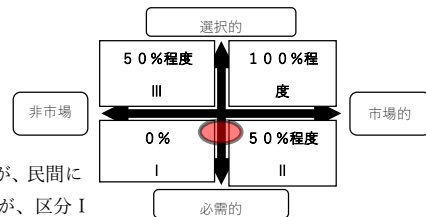
また、市の税収を支える15歳から64歳までの生産年齢人口は、総人口のピークよりも10年ほど早い2025年頃をピークに減少が始まることが予測され、運行の持続に影響を及ぼすことも考えられる。

そこで、運行開始当初より現在の運賃体系で運行を続けてきたが、将来を見越し、N-バス運行の持続性を確保するために、令和4年4月から料金体系の改定を検討する。

2 改定に向けた考え方

(1) 受益者負担の適正化

N-バスの運賃について、「長久手市使用料及び手数料の適正化に関する方針」における受益者負担割合の考え方に当てはめると、区分II(日常生活には不可欠で、主として行政が提供するが、民間にもあるサービス：50%)にあたると思われるが、区分I(日常生活には不可欠で、行政が提供すべき施設：0%)との側面もあることから、受益者負担割合は、中間の25%に設定すべきと考えます。受益者負担割合25%を適用すると、以下試算のとおりとなりますが、現在の運賃と比較し負担が大きすぎるため、この金額を適用することは、現時点では難しいと考えています。



N-バスの現行運賃や、近隣市の受益者負担割合、また愛知県内の自主運行バス等の収支率令和2年度平均(10.6%)、近隣市平均(10.4%)に出来るだけ近づきつつ、愛知県内中央値(9.2%)を超えることを今回の料金体系の改定における目標とします。

※令和元年度決算数値で試算

(運行経費 122,261,000円 - 国庫補助金 4,532,000円) × 25% / (総乗車数 225,010人 × 有料化率 0.531) = 246円

$$\text{※有料化率} = \frac{\text{既存有料者延べ} 47,954 \text{人} + \text{新規有料者延べ} 71,575 \text{人}}{\text{延べ} 119,529 \text{人}} = \frac{119,529 \text{人}}{\text{総乗車数} 225,010 \text{人}} = 0.531$$

(2) 運行経費の増加

N-バスの運行経費は、増減はあるが1億円を超えて推移している。平成30年度1億2,071万円、令和元年度1億1,272万円、令和2年度1億2,876万円、令和3年度は1億1,175万円の見込みとなっており、運行経費に係る予算拡大は難しい。

(3) 車両更新

現在、走行している小型バス5台については、平成20年から順次導入した車両で、令和3年9月現在多いもので約73万km走行している。安全性や修理費用抑制の観点から令和3年度1台更新を行う。今後も計画的に更新を行っていく予定であるが、車両1台あたり約2,000万円の経費が必要となってくる。

(4) 民間バスの路線料金

名鉄バスは、対距離料金(170円～)となっている。

(5) 料金体系の改定に伴う対応

- ・高齢者の外出機会を支援し、健康作りや介護予防を推進することを目的とし、今回の運賃体系の改定に合わせて、「介護保険法による介護認定者(要支援を含む)と付添者1人」を新たな無料対象とする。
- ・高頻度利用者に対して、フリーバス・回数券を導入する。

3 改定後の料金体系(案)

(1) 基本運賃は変わらず100円。

(2) 無料対象者

- ア 中学生以下の小人(通学、子育て支援)
- イ 就学前の児童1人につき同伴の保護者1人(子育て支援)
- ウ 妊婦(子育て支援)
- エ 身体障害者手帳の所持者と付添者1人(福祉的支援)
- オ 療育手帳の所持者と付添者1人(福祉的支援)
- カ 被爆者健康手帳の所持者と付添者1人(福祉的支援)
- キ 精神障害者保健福祉手帳の所持者と付添者1人(福祉的支援)
- ク **新規：介護保険法による介護認定者(要支援を含む)と付添者1人(福祉的支援)**
- ケ **新規：長久手市高齢者外出促進事業実施要綱第3条第1項第2号の対象者(運転免許自主返納者)**

※現行のmanacaチャージ券5枚(5,000円分)に、新たに回数券(100円券11枚つづり1,000円)6セットを加え、いずれかの選択制にする。

※廃止：長久手市が発行した赤色の「あったかあど」を携帯している人

※エ〜クについては、安心安全課に申請手続きの上、無料バスを発行し、各手帳もしくは無料バスを掲示し利用できるように対応予定)。ケは長寿課に申請し発行。

(3) フリーバス券(決められた期間の乗り放題券)

区分	1か月	3か月	割引率	6か月	割引率
市内在住の65歳以上の方	1,500円	3,700円	16% (1月あたり1,230円)	6,300円	30% (1月あたり1,050円)

※利用者調査により、週1～2回利用が多かったため、週2回以上を購入層と設定した。

※購入月の末日まで有効。(3か月、6か月は購入月から起算した対象月の末日まで有効)

(4) 回数券(市内在住の65歳以上の方)

100円券11枚つづり1,000円(一枚あたり90.9円)

※有効期限なし。

※(3)フリーバス券及び(4)回数券について、販売時に、住所及び年齢確認が必要。

(5) フリーバス・回数券の販売場所

市内3か所を予定。

(6) 乗り継ぎ券

「市役所」「市役所前」「福祉の家」「長久手古戦場駅」で発行。

4 料金体系の改定までの流れ

- (1) 令和2年7月・・・N-バス再編方針策定
- (2) 令和3年4月・・・N-バスルート及びダイヤ再編
- (3) 令和3年8月～9月・・・N-バス利用者調査(別紙)
- (4) 令和3年10～12月・・・地域公共交通会議(5回、57回※予定)
- (5) 令和4年1月以降・・・周知期間 ※予定
- (6) 令和4年4月1日・・・料金体系の改定施行 ※予定

Nーバス利用者調査

1 目的

令和4年4月を目標に料金体系の見直しを検討しているが、Nーバス利用者特にあったかぁど利用者にアンケート調査を行い、見直しの周知状況や意見を聞くことを目的とした。

2 対象者

あったかぁど利用者  
(有料利用者等も含む)

3 アンケート調査概要

項目	概要
実施期間	令和3年8月10日(火)～令和3年9月17日(金) ※8月12日(木)～20日(金)・休日除く。
実施場所	市内バス停全97か所(全8ルート)
実施方法	あったかぁど利用者が利用している時間帯を中心に、日にちを分けて、下記方法で、全ルートのバス停に行き、乗車待ち時間及び降車直後に、アンケート用紙に基づき、聞き取り調査を行った。 (方法1) 乗り継ぎ拠点である市役所バス停で、乗り継ぎ時間を想定し、待ち時間での調査。 (方法2) 各ルートの運行時間より、15分程度前に市役所を出発し、各バス停をルート順に回り、乗車待ちしている方を調査。
調査員	安心安全課職員4名
回答数	104人(165件※複数意見) ※あったかぁど利用者は、93人。

4 調査回答バス停

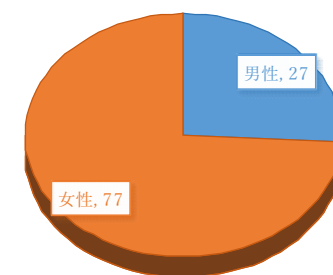
バス停名	人数
市役所	48
戸田谷	16
福祉の家	16
長久手古戦場駅	10
愛知医大	5
藤が丘	2
公園西駅、たいようの杜、長久手郵便局、段の上、下鴨田、菖蒲池、枹ヶ池公園西	各1
計(人)	104

5 アンケート調査内容

(1) 利用者性別

利用者のうち女性が104人中77人と多数であった。

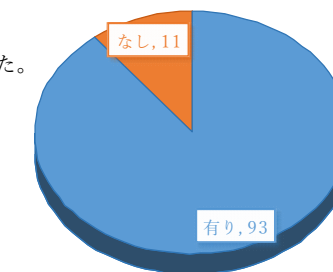
男性	27	26.0%
女性	77	74.0%
計(人)	104	



(2) あったかぁどの所持率

あったかぁど所持者は、104人中93人でした。

有り	93	89.4%
なし	11	10.6%
計(人)	104	

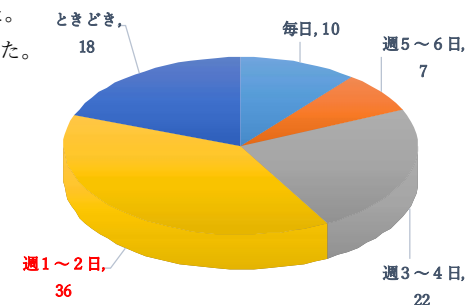


(3) 週何回利用されていますか？

<あったかぁど利用者>

「週1～2回」が多数となりました。次に、「週3～4回」、「ときどき」でした。

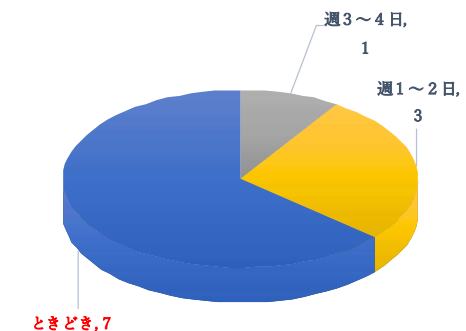
毎日	10	9.6%
週5～6日	7	6.7%
週3～4日	22	21.2%
週1～2日	36	34.6%
ときどき	18	17.3%
計(人)	93	



※割合は104人に対してです。

<有料利用者等>

毎日	0	0.0%
週5～6日	0	0.0%
週3～4日	1	1.0%
週1～2日	3	2.9%
ときどき	7	6.8%
計(人)	11	

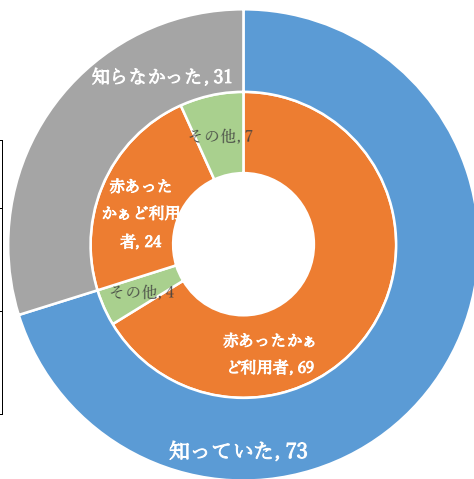


※割合は104人に対してです。

(4) 運行に1億2,000万円かかっていることを知っていますか？

聞き取りによれば、広報等で知っていたと回答された方が多数でした。

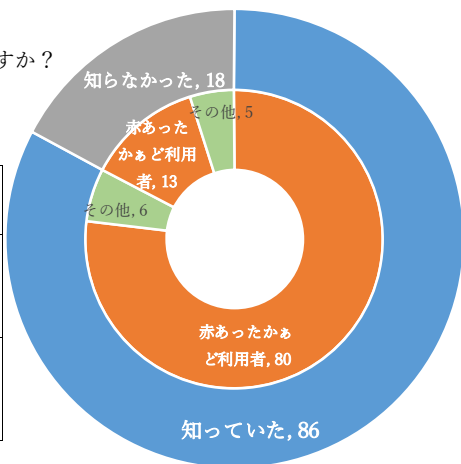
回答	区分	小計(人)	計(人)
知っていた	赤あったかあど利用者	69	73
	その他	4	
知らなかった	赤あったかあど利用者	24	31
	その他	7	



(5) 令和4年4月を目標に料金体系の見直しを行う検討について知っていますか？

聞き取りによれば、広報等で知っていたと回答された方が多数でした。

回答	区分	小計(人)	計(人)
知っていた	赤あったかあど利用者	80	86
	その他	6	
知らなかった	赤あったかあど利用者	13	18
	その他	5	



(6) 個別意見 計165件(104人による複数意見)

#### ア 料金体系の見直し容認 51件

- ・料金体系の見直しはやむを得ない。<39件>
- ・やむを得ないが、フリーバスや回数券がほしい<8件>
- ・やむを得ないが75歳、80歳以上は無料にしてほしい。
- ・やむを得ないが、できればあったかあど所持者と、それ以外に料金差をつけてほしい。
- ・料金体系の見直し反対の声があるなら、バス自体やめればいい。
- ・100円はいいが、便数を増やしてほしい。

#### イ 料金体系の見直し反対 16件

- ・無料のままを継続してほしい<11件>
- ・所得に応じて、決めてもらいたい。<2件>
- ・50円にしてはどうか。<2件>
- ・1日100円がいい。

#### ウ ダイヤについて 47件

- ・ダイヤが不便になった。<16件>
- ・乗り継ぎ時間が悪くなった。<6件>
- ・ダイヤがよくなり便利になった。<5件>
- ・待ち時間が長くなった。<4件>
- ・2時間(3時間)に1本しかない。<4件>
- ・藤が丘線のダイヤが不便になった。<4件>
- ・前のダイヤに戻してほしい。<3件>
- ・三ヶ峯線のダイヤが不便である。
- ・医大、福祉の家の帰りが困る。 他

#### エ 運行本数について 19件

- ・本数が減って困る。<11件>
- ・本数をふやしてほしい。<7件>
- ・バスの台数を増やして、本数を増やしてほしい。

#### オ ルートについて 32件

- ・再編で乗り継ぎが無くなって良くなった。<13件>
- ・前のルートが良かった。<6件>
- ・乗り継ぎが悪くなった。<6件>
- ・全てが福祉の家に行かなくてもいい。
- ・もっと短いルートがいい。 他